2004年光天連シンポジウム「大学の活性化」

VSTリニューアル

لح

府大学芸大1.5m電波望遠鏡



東京学芸大学 教育学部 地学科 西浦 慎悟

東京学芸大学 天文学教室



40cm望遠鏡ドームと2004年度 天文学教室のメンバー(の一部) 教授 水野孝雄

助教授 土橋一仁

助手 西浦慎悟

M2 2名

M1 3名

B 4 7名

B3 6名

教員養成系学部であるため、自然科学を系統的に習得する には難しいカリキュラムになっている。

東京学芸大学 天文学教室

自然科学系教員には、本格的に高い専門性が求められるようになりつつある。(理数教科担当教員は修士修了者以上科学技術・学術審議会人材委員会(文部科学省) 2004/07/16

→ 修士生に最前線の研究活動を経験させることに よって、高度な専門性と教育センスを養成する。

その手段のひとつとして...

東大VSTリニューアル計画への参加

府大·学芸大1.5m電波望遠鏡の開発

専用望遠鏡の獲得

東京大学VSTリニューアル計画

VST:東京大学天文学教育研究センターの 60cm電波望遠鏡。1号機は野辺山、2号機は 欧州南天天文台ラシア(チリ)に設置。



VST1号機

230GHz : CO(J=2-1)

HPBW: 9 arcmin

東京大学VSTリニューアル計画

天文学教育研究センター(IoA)

リニューアル

大阪府立大学

東京大学VSTリニューアル計画

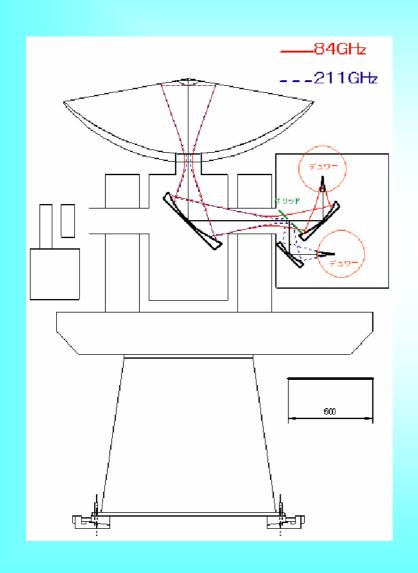
東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センター(IoA) 望遠鏡システム制御系の改良



大阪府立大学 光学系の設計·製作 230GHz帯受信機の2SB化 東京学芸大学

DSS分子雲サーベイ·データ 較正用チョッパーの製作 AOSの作製

府大·学芸大1.5m電波望遠鏡計画





府大·学芸大1.5m電波望遠鏡計画



大阪府立大学 受信機システムの開発

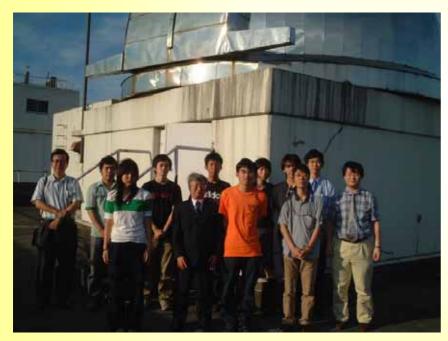
> アンテナ設置 光学ポインティング 制御系・分光計の設置

東京学芸大学 望遠鏡制御系の開発

東京学芸大学・開発室の立ち上げ

東京学芸大学40cm光学望遠鏡ドーム内の待機室に、

開発室を立ち上げた。



40cm望遠鏡ドームと2004年度 天文学教室のメンバー(の一部)



40cm光学望遠鏡

東京学芸大学・開発室の立ち上げ



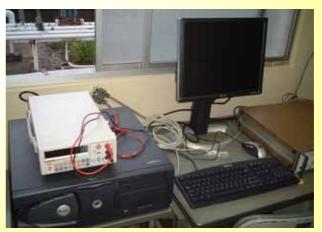
開発室の内部



VST用チョッパーの開発風景



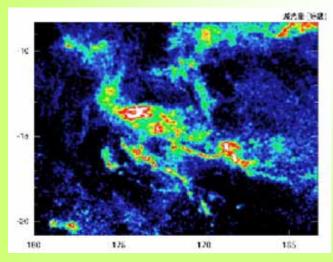
開発実験風景

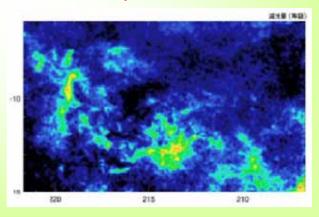


府大·学芸大望遠鏡用 制御システム(開発 中)

VSTと府大·学芸大1.5m望遠鏡で 目指すサイエンス

- 1) DSSサーベイで検出された分子雲の大規模サーベイ 電波領域サーベイ観測による分子ガス情報の取得 可視・近赤外サーベイによるダスト情報の取得
- → 星形成領域における分子ガスとダストに関する、 大規模な統計的研究が可能。

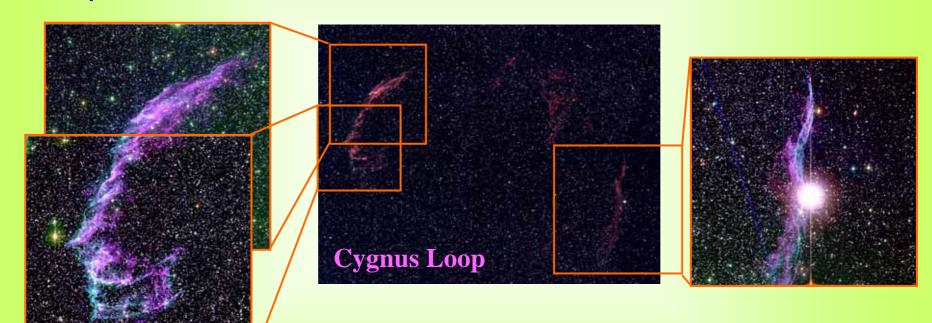




DSSによる減光量マップの例 (Dobashi et al. PASJ in press.)

VSTと府大·学芸大1.5m望遠鏡で 目指すサイエンス

2) 超新星残骸領域の大規模サーベイ



電波輝線観測から分子ガスの構造がわかる 可視域狭帯域撮像から電離ガスの構造がわかる

→ 恒星の輪廻転生に関する統計的研究が可能となる

東京学芸大学」が小望遠鏡を占有する意味

(教育目的)一定水準以上の天文学的データが取得でき、かつ自由度の高い観測計画が可能。

(研究目的) 大量の観測時間の投入と機動力を活かして、 挑戦的なテーマの観測研究が可能。

→天文学を通して、学生に科学的な物の見方、論理的な 思考方法を習得させ、知的レベルにおいて高度な教員を 養成する。

鉄は熱いうちに打て